

令和6年度学校経営シラバス 評価

A：そう思う→4 B：どちらかというと思う→3 C：どちらかというと思わない→2 D：そう思わない→1 （※Avg.2.5を基準とする） 回答：13

教 育 活 動										
領域	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	A	B	C	D	集計	Avg	R 5	
学習指導	①評価法の工夫による学習意欲向上	①生徒の学習活動をそれぞれの観点から適切に評価し、その評価が生徒にとって次の学びへのモチベーションとなっていたか。	1	9	3	0	37	2.2	2.94	
	②ＩＣＴの有効活用	②タブレットや視聴覚教材等を積極的に活用し、生徒にこれまでと違った視点からアプローチすることで、学びの深化を図り発信することができたか。	6	4	3	0	42	2.5	3.29	
	③地域資源・地域人材等を活用した授業内容、学習方法の工夫	③地域資源・地域人材等を活用し、生徒の実態に応じて主体的・対話的で深い学びを導くための授業改善がなされていたか。	3	8	2	0	40	2.4	3.12	
生徒指導	①学習活動や生徒会活動等、全ての教育活動で共通して行う生徒指導の実践	①生徒一人一人の個性を伸ばし、社会の中で自分らしく生きていくために必要な資質・能力の育成を教職員の共通理解の下、全ての教育活動を通じて図ることができたか。	2	8	3	0	38	2.2	2.71	
	②いじめや不登校等の未然防止と早期発見・対応の実践	②生徒が自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、安心・安全な学校生活が送れる環境が醸成されたか。	4	8	1	0	42	2.5	2.88	
	③家庭や地域と連携を図り、日常的な教育相談の推進	③生徒の健全育成を推進するために保護者や地域と密接に連携しながら共通理解を図り、協働して教育相談をはじめとする生徒の成長を支える取組を行うことができたか。	3	8	2	0	40	2.4	2.59	
進路指導	①小規模総合学科校としての特色あるキャリア教育の確立と実践	①キャリア教育の点検・見直しを行い、全教職員の共通理解の下、生徒の実態に合った３年間の系統的・計画的キャリア教育が行われ、年次ごとに必要な資質・能力が身に付いたか。また、年次間の連携は図れたか。	1	3	8	1	30	1.8	2.76	
	②自己理解にもとづく主体的な進路選択・行動のできる生徒の育成	②産業社会と人間・総合的な探究の時間（ＣＬ）、各種検査・模試結果の活用、面談等を通じ、生徒の進路希望や適性を見極め、１つ上を目指す効果的な指導を行うことができたか。（進学指導の重視）	2	4	6	1	33	1.9	2.82	
	③家庭・地域と連携した組織的な進路指導の推進	③保護者や関係機関と連携が密に図られ、各年次ごとに適切な情報提供や組織的進路指導が推進できたか。	0	8	4	1	33	1.9	2.88	
健康・安全指導	①生活習慣や心身の健康等自立的な健康管理を促す指導の充実	①関係機関と連携し、心身の健康管理や望ましい生活習慣の確立に向けた意識啓発・指導を実施し、生徒の意識を高揚させることができたか。	0	8	5	0	34	2	2.88	
	②安全で健全な生活を営むための安全指導及び防災教育の充実	②薬物乱用防止や防犯・交通安全指導、情報モラル指導、防災避難訓練等を計画的に実施し、生徒の危機管理意識を高揚させることができたか。	4	8	1	0	42	2.5	2.59	
	③日常の美化活動等を通じた学習環境、地域奉仕への意識の高揚	③環境整備及び美化活動が全校的・計画的になされ、校舎内外の美化が保たれたか。	1	8	4	0	36	2.1	2.65	
学 校 経 営										
領域	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	A	B	C	D	集計	Avg	R 5	
信頼と活力のある学校づくり	①道職員として道民(町民)の負託に応え、信頼される学校づくり	①様々な機会を通じ、保護者、地域との信頼関係の構築がなされ、地域の期待に応える教育活動を実践することができたか。	2	11	0	0	41	2.4	2.94	
	②さまざまな方法による本校教育活動についての情報発信	②教育活動内容や成果等を、保護者、地域、全道へ適切に周知できたか。	1	11	1	0	39	2.3	3.18	
	③地域、異校種、関係機関との連携による教育活動の充実	③学習、生活、部活動、ボランティア活動等を通じ、連携・協力を図り、地域に貢献できる教育活動を行うことができたか。	1	11	1	0	39	2.3	3.18	
	④社会に開かれた教育課程の実現	④地域の教育資源を積極的に活用し、学習内容をより充実させることができたか。	1	10	2	0	38	2.2	3.18	
	⑤カリキュラム・マネジメントに資する学校評価の工夫・改善と活用	⑤教育計画・重点目標の達成状況が適切に評価され、教育活動の改善に活かされているか。	1	10	2	0	38	2.2	2.94	
組織運営	①小規模総合学科校としての将来像構築と全教職員の経営参画・協働意識による学校力向上	①教職員各自がスクール・ミッション、スクール・ポリシーを意識し、協働してその実現に向けて取り組むことができたか。	1	8	4	0	36	2.1	3	
	②分掌組織、年次間の連携強化	②組織体制の整備、分掌・年次間の情報共有と連携による業務の効率化・推進が図られたか。	2	6	4	1	35	2.1	2.76	
	③団体会計や私費会計の適切な処理	③相互牽制が機能し、適切な会計処理がなされたか。	4	9	0	0	43	2.5	3.24	
教職員の資質向上	①教科指導力、生徒指導力の向上を図る効果的な研修の実施	①授業公開や授業評価等の活用による授業改善に向けた組織的な取組・研修が計画的に進んだか。	2	9	2	0	39	2.3	3.18	
	②校内外の研修等への参加と成果の共有化	②資質向上に係る研修に積極的に参加し、その成果を他の職員と共有することができたか。	3	8	2	0	40	2.4	3.24	
	③服務規律の保持及び危機管理能力の向上	③服務規律に係る様々な取組を通じ、「不祥事は絶対に起こさない」という強い決意の下、教育公務員としての責務を果たすことができたか。	6	7	0	0	45	2.6	3.29	
働き方改革	①勤務時間外労働時間の縮減	①ワークライフバランスの視点を取り入れ、教職員それぞれが勤務時間を意識した働き方を推進できたか。	1	5	5	2	31	1.8	2	
	②年休取得率の向上	②教職員が積極的に休暇を取得し、心身のリフレッシュを図る機会を設けることができたか。	3	5	5	0	37	2.2	2.65	
	③業務の効率化と組織体制の見直し	③教職員間で業務や組織体制の見直しを話し合う機会を設け、改善策を出し合い、実行することで組織全体の働き方改革が推進できたか。	0	4	6	3	27	1.6	2.24	